透明人間（1954）

THE INVISIBLE MAN

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　特撮
製作国 日本
色彩 B&W
時間 70分
初公開日 1954/12/29

【解説】

宝石店を襲撃した男は、何故か顔を包帯で覆っていた。第二次大戦中に透明人間部隊が存在していたことから、犯人はその生き残りである可能性が示唆される。事件を追う事件記者の小松は、宝石店に来ていたというサンドイッチマンのピエロに疑惑の目を向ける。その男のアパートには盲目の少女がおり、ピエロの男は彼女にプレゼントするためのオルゴールを買い求めていたのだった……。戦争の犠牲となった男の悲劇を描いたＳＦスリラー。自らを「軍国主義が生み出した怪物」と呼ぶ透明人間には、フランケンシュタインの怪物に似た哀しみがにじみ溢れている。ストーリーを損なわない特撮も素晴らしく、特に佇立する半透明なひとがたが怪奇性をよく表現している。

【クレジット】

監督	小田基義	
製作	北猛夫	
原案	別府啓	
	日高繁明	
脚本	日高繁明	
撮影	円谷英二	Eiji Tsuburaya
美術	安倍輝明	
編集	庵原周一	
振付	縣洋二	
音楽	紙恭輔	
特技監督	円谷英二	Eiji Tsuburaya
出演	河津清三郎	南條
	三條美紀	美千代（クラブ黒船歌手）
	高田稔	矢島
	土屋嘉男	小松
	植村謙二郎	健
	藤原釜足	まりのおじいさん
	村上冬樹	社会部長　山田
	澤村宗之助	代議士
	恩田清二郎	警視総監
	大友伸	龍田警部
	重山規子	踊り子
	近藤圭子	まり（盲目の少女）
	汐見洋	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.